

経営比較分析表（平成29年度決算）

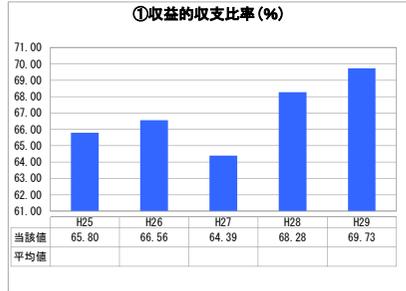
埼玉県 越谷市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	83.32	88.01	2,322

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
340,862	60.24	5,658.40
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
284,200	27.67	10,271.05

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



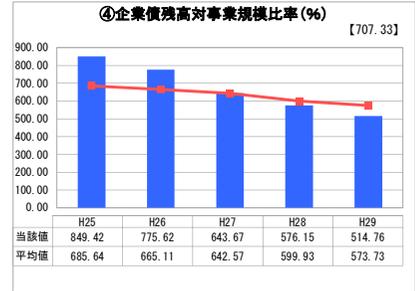
「単年度の収支」



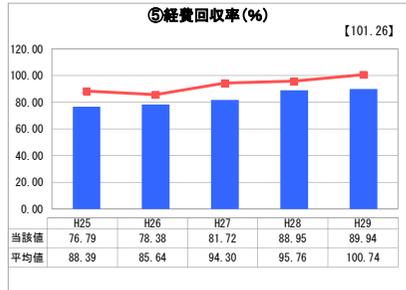
「累積欠損」



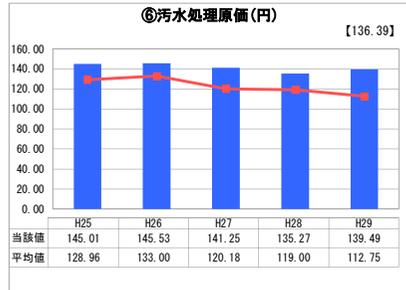
「支払能力」



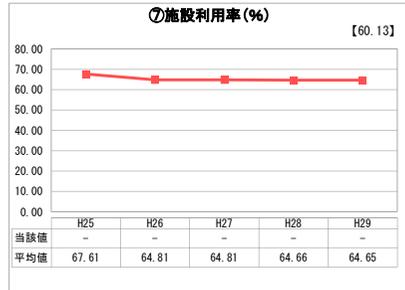
「債務残高」



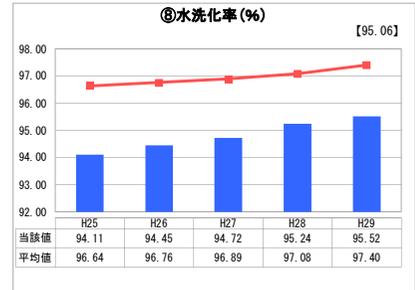
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

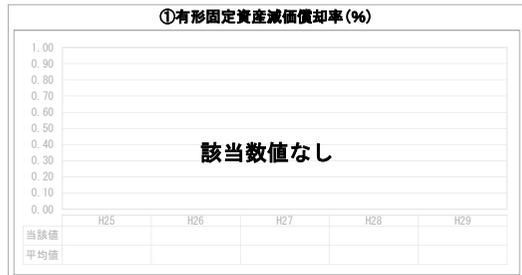


「施設の効率性」

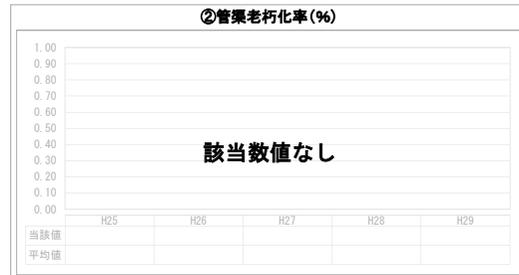


「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
平成28年7月に使用料改定を実施したことで、料金収入が増加し、前年度に引き続き改善が進んでいる。

④企業債残高対事業規模比率
下水道施設建設のピーク時に借入を行った起債の償還が進み、企業債残高は減少傾向にあるため、改善傾向にある。平成29年度においても、前年度に引き続き、類似団体の平均値を下回っている。

⑤経費回収率、⑥汚水処理原価
経費回収率については、類似団体より低い水準にあるものの、使用料改定により料金収入が増加しており、現時点の目標である90%程度となっている。また、汚水処理原価については、主要な構成要素である企業債償還金は減少傾向にあるものの、流域下水道負担金等の増加に伴い、前年度よりやや上昇しているが、資本費平準化債を活用するなど、抑制に努めている。

⑧水洗化率
平成29年度において、類似団体より低い水準に留まっているが、未接続世帯の解消を図るべく、職員及び委託による戸別訪問指導を継続的に実施しており、過去5年は改善傾向にある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
類似団体より低い水準となっているが、長寿命化計画に基づき下水道施設の計画的な更新・改築に取り組んでおり、管渠については、平成25年度より更新工事に着手している。平成29年度の実績は前年度より下落しているが、中期的には改善傾向にある。

全体総括

経費回収率は、平成29年度末時点で、類似団体より低い水準に留まっているが、平成28年7月に下水道使用料の改定を実施していることから、現時点の目標である90%程度となっている。今後は、企業債償還金のピークが過ぎつつあることから、更なる改善が見込まれる見込みである。

水洗化率についても、平成29年度末時点で、類似団体より低い水準に留まっているが、未接続世帯解消の対策の実施により改善傾向にあり、引き続き対策に取り組んでいく。

また、下水道施設の老朽化対策については、現在、ストックマネジメント計画の策定等に取り組んでおり、今後、計画的かつ効率的に更新を推進していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。